

9. フェニル誘導体化を用いた GC-MS 法による魚介類中メチル水銀の分析

保健科学課 坂本 智徳・赤木 浩一
樋脇 弘

第 98 回日本食品衛生学会学術講演会

フェニル誘導体化を用いた GC-MS 法による魚介類中メチル水銀の分析法を検討した。試料に臭化カリウム溶液および硫酸銅飽和硫酸を添加し、試料中のメチル水銀をトルエンに抽出した。トルエンからシステイン溶液に逆抽出を行い、システイン溶液にテトラフェニルホウ酸ナトリウム溶液を添加してメチル水銀をフェニル誘導体化し GC-MS により測定した。定量下限は 5 ng/g であった。相対標準偏差は 10% 未満であり、添加回収試験の平均回収率は 90~100% と良好な結果が得られた。